

氏名	堤大輝	出身高校名	福岡大学附属大濠高校
受験学部	総合政策学部、環境情報学部	入学学部	総合政策学部

1. 総合政策学部の入試について

(1) 総合政策学部の入試問題の大問 4 つごとに

① 総合政策-I

ここではセキュリティや IT 関係の法などの基礎的な問題が出されました。問題をよく読んで意味を理解した上で解けば、それほど難しい問題はなかったように感じます。「社会と情報」と「情報の科学」の教科書をよく読んでいればほとんど解ける問題でしょう。若干、教科書では見かけなかった語句が出てきましたが、その語句の意味をよく考えて解けば解けない問題ではありませんでした。

② 総合政策-II

まず単位などの基本的な知識問題が問われました。その次からの問題は応用問題でした。

(イ) は法則を見つけ出せなければ解けない問題でした。様々な視点から柔軟に考えなければならず、発想力も試される問題であると思います。対策としては基本情報技術者試験などの応用問題を多く経験しておくことだと思います。

(ウ) はアルゴリズムの問題でしたが基本的なバブルソートの問題でした。バブルソートは教科書に出てきていたので教科書をしっかり理解していれば難しい問題ではないと思います。バブルソートを知らなくても問題をよく読んで考えれば解けると思います。対策としてはこのバブルソートのような基本的なプログラムを幾つか勉強しておくことでしょう。バブルソートは他の入試問題などでもよく出されているのでそのような問題を多くといておくといいと思います。

③ 総合政策-III

データベースのテーブルの問題でした。基本的には問題をよく読んで考えればそれほど難しい問題ではありません。一つ一つのテーブルが何のためのテーブルなのか考え、それぞれのテーブルをつなげて考えていく。随時メモを書き入れながら考えるとわかりやすいでしょう。(オ) も問題をよく読んで、商品購入するときのことを想像しながら考えるとそれほど難しくないと考えます。対策は基本情報技術者試験やセンター試験の応用問題を多く解くことだと思います。

④総合政策-IV

カレーを作る時のアルゴリズムを考える問題でした。これはアローダイアグラムを書いて考えるとわかりやく簡単に解けると思います。書かなくても一つ一つ考えていくと解けると思いますが時間がかかってしまうでしょう。(イ)は少し難しい問題だと感じました。しかし、一つ一つの変数が何を意味するのか考えメモしながら考えるとわかりやすいのではないのでしょうか。問題をしっかり読み、落ち着いて解いていかなければ解くのは難しいでしょう。これも基本情報技術者試験やセンター試験の応用問題に慣れておくことが役に立つでしょう。

(2)総合政策学部の入試問題の全体を振り返って

①難しかった部分

後半のアルゴリズム問題は難しいと感じました。問題を落ち着いてしっかり読み、理解しなければ解けない問題が多かったと思います。前半問題であまり時間を使わず後半に進むことができれば焦らずに解くことができると思います。法則を見つける問題はその法則に気づけなければ解けないので柔軟に考えることが必要だと思います。

②易しかった部分

Iの基礎的な知識問題は易しかったです。初めて聞いた語句でもその語句からなんとなく考えて解ける問題も多かったと思います。

③どのくらいできたか

自己採点で八割五分ほどだと思います。

全体的にはそれほど難易度が高くなかったと感じたので基本的な知識を固めて、どれだけ問題を落とさないかが鍵でしょう。基本情報技術者試験レベルを安定して8割ほど取れて、教科書の内容が頭に入っていたら合格できると思います。

④全体としての試験勉強対策として

教科書の内容を理解していることは必須でしょう。それに加えてITパスポート試験や基本情報技術者試験の内容まで理解しておくとういと思います。教科書だけでは賅えない問題も幾つか出題されていたように思います。また様々な応用問題が出題されていて、1年目の現在まだ傾向を把握することが難しいので、なるべく多くの問題を解いて慣れておくことが必要だと思います。現在情報入試を行っている大学の過去問、センター試験、ITパスポート試験、基本情報技術者試験などの問題を手に入るだけ多く解くことが望ましいのではないのでしょうか。

比較的問題は難しくなかったので情報入試は高得点者が多く出ると思います。私はどれだけ問題を落とさないかが合格のカギになると思います。そのため問題集の問題で日頃から高得点を狙っていく必要があると思います。

2. 環境情報学部の入試について

(1) 環境情報学部の入試問題の大問4つごとに

①環境情報-I

ここでは基本的な知識問題が出されました。比較的に簡単な問題が多かったように思います。著作権や SNS の問題は問題をよく読まなければ間違えてしまう問題もありました。知らない語句が出てきてもその語句から意味を考えたら解ける問題も多かったと思います。

(コ) は文章問題でしたが基本的な情報の知識を持ち、文章を読み解く力が必要だと感じました。日頃からインターネット関連のニュースに触れておくのと解きやすいのではないのでしょうか。全体的には文章をしっかり読ませる問題が多かったように思います。

②環境情報-II

論理演算や数値表現、符号化などの計算する問題が出題されました。

(ア) は論理式の基本的な公式を覚えていたら解ける問題だと思います。しかし、かなり複雑な問題なのでベン図を書きながら考えるとわかりやすいのではないのでしょうか。

(イ) は基本的な二進数の問題なので二進数の知識を持っていれば難しい問題ではないと思います。

(ウ) は文字と二進数を対応付ける符号化の問題でした。問題をよく読み、メモを取りながら考えるとわかりやすいと思います。初めて見ると文章が難しく理解するのに時間がかかるかもしれませんが、符号化の問題はセンター試験や基本情報技術者試験でも頻繁に出されているので、それらで経験を積んでおけばすぐに何のことを言っているのかわかると思います。

③環境情報-III

インターネットについての基本的な知識を問う問題が出されました。基本的な問題ばかりで教科書の内容と IT パスポートの内容が頭に入っていれば解けると思います。他の問題に比べてここは簡単な問題なので満点を狙いたいところだと思います。

④環境情報-IV

少し数学的な力も問われる問題が出題されました。(ア) は1からいくつか数字を当てはめていけば、 f はどのような値を返しているかすぐに見えてくるでしょう。(イ) は漸化式の計算の仕方のアルゴリズムを考える問題でした。それほど複雑なアルゴリズムではないので漸化式の解き方を考え、落ち着いて解けば解ける問題だと思います。(ウ) はアルゴリズムがなぜそのようになっているのか理由を問う問題でした。これはこのアルゴリズムの構造をきちんと理解していれば解けると思います。一つ一つの選択肢が正しいか正しくないか考えていくと答えに行き着くと思います。絶対に違うものから消去法で消していってから考えるのもいいと思います。私は文系でほぼ数学の知識がないためぱっと見て、数学っぽい問題を見て焦りましたが実際はそれほど難しいことは問われておらず、文系でも解

くことができる問題となっていると思います。焦らないことが大切です。数学 B、II までの復習を少ししておけば安心でしょう。

(2)環境情報学部の入試問題の全体を振り返って

①難しかった部分

論理演算などの計算問題が少し複雑で難しいと思いました。また、符号化の問題が文章をよく読み理解しなければ解けない問題で、時間をかけて解いた記憶があります。

②易しかった部分

基本的な知識を問う問題は簡単なものが多かったです。どれも問題をよく読めば解ける問題ばかりであったと思います。

③どのくらいできたか

自己採点で低く見積もっても九割は超えていました。

教科書の内容がすべて頭に入っており、IT パスポート試験や基本情報技術者試験で安定して 8 割ほどできていれば合格できるのではないのでしょうか。

④全体としての試験勉強対策としては

まず教科書の内容は全部頭に入れておく必要があると思います。その次に IT パスポート、基本情報技術者試験の内容を勉強しておくといいと思います。情報入試は始まって間もなく問題傾向がまだ掴めないで、なるべく様々な問題を解くことが大切です。

センター試験を始め、駒澤大学や高知大学、明治大学などの過去問を多く解いて様々な応用問題に慣れておくといいでしょう。基本情報技術者試験などは過去問が何年分もネットで手に入ると思うのでたくさん解くことができますと思います。他にもプログラムに慣れるために SFC の数学の過去問のプログラム問題なども解いてみるといいでしょう。

また、バブルソートや素数の計算などよく出るプログラムの形は覚えておくといいのではないのでしょうか。今回は数学に近い問題が出されていたので数学の基礎知識は多少持っていた方がいいかもしれません。国語のような文章題も出されていましたが小論文の練習をしていたら読解力は養うことができるでしょう。また最近の IT 関係のニュースや事件に目を通しておくことも対策になるでしょう。